

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	歴史 1
科目基礎情報						
科目番号	101230		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	生物応用化学科		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	詳説 世界史 (山川出版社)					
担当教員	鴨頭 俊宏					
到達目標						
1、世界の各地域・国・民族の歴史や文化の特徴やイメージを理解し説明できる。 2、世界の諸地域の人々の交流とその広がりから相互の文化的影響や関係について多角的に考察できる。 3、歴史を記録類などの文献や、考古資料、民俗資料などから幅広く検討・説明できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	世界の各地域・国・民族の歴史や文化の成り立ち・特徴・違いを比較しそれをまとめて文章で説明できる。		世界の各地域・国・民族の歴史や文化の特徴やイメージを個別的に理解し文章または口頭で説明できる。		世界の各地域・国・民族の歴史や文化の特徴やイメージを表現できない。	
評価項目2	世界の諸地域の人々の交流とその広がりから相互の文化的影響や関係とその変化について多角的に考察し、論理的に筋道だてて文章表現できる。		世界の諸地域の人々の交流とその広がりから相互の文化的影響や関係について理解し、その概要を文章または口頭で述べることができる。		世界の諸地域の人々の交流とその広がりから相互の文化的影響や関係について理解・説明ができない。	
評価項目3	歴史のなりたちを記録類などの文献や、考古資料、民俗資料などが持つ性格や内容を分析・洞察し、相互に駆使しながら総合的に再構成して文章で表現できる。		歴史のなりたちを記録類などの文献や、考古資料、民俗資料などのいずれかから分析し口頭で説明できる。		歴史のなりたちを記録類などの文献や、考古資料、民俗資料いずれからも説明できない。	
学科の到達目標項目との関係						
教養 (D)						
教育方法等						
概要	世界的視野にたって、文明の出現から近現代にいたる世界各地の国々・地域や民族の由来を学ぶとともに、世界の諸地域の文化的枠組みがどのように形成されどう変化してきたのかを理解し、歴史的思考力を培う。					
授業の進め方・方法	講義形式					
注意点	一年生の地理の学習を思い出しながら、世界の各時代の文明圏の特徴や主要なできごとを広い視野から考察することが大切です。					
本科目の区分						
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	授業＆歴史学ガイダンス		1,2,3	
		2週	石器時代から文明の時代へ		1,2,3	
		3週	古代オリエント世界の成立		1,2,3	
		4週	古代ギリシア世界 (1)		1,2,3	
		5週	古代ギリシア世界 (2)		1,2,3	
		6週	古代ローマ世界 (1)		1,2,3	
		7週	古代ローマ世界 (2)		1,2,3	
		8週	中間試験			
	2ndQ	9週	インダス文明のおこり		1,2,3	
		10週	古代インド世界 (1)		1,2,3	
		11週	古代インド世界 (2)		1,2,3	
		12週	中国文明のおこり		1,2,3	
		13週	中国史に学ぶ (1)－人材登用－		1,2,3	
		14週	中国史に学ぶ (2)－土地制度－		1,2,3	
		15週	中国史に学ぶ (3)－外交－		1,2,3	
		16週	期末試験			
後期	3rdQ	1週	中国史に学ぶ (4)－身分制度－		1,2,3	
		2週	イスラーム世界のおこり (1)		1,2,3	
		3週	イスラーム世界のおこり (2)		1,2,3	
		4週	世界のなかのイスラーム文明		1,2,3	
		5週	中世ヨーロッパの世界		1,2,3	
		6週	ヨーロッパ世界の近代化		1,2,3	
		7週	「世界の三大発明」 (1)		1,2,3	
		8週	後期中間試験			
	4thQ	9週	大航海時代の到来		1,2,3	

	10週	大航海時代後のヨーロッパ	1,2,3
	11週	大航海時代後のアジア世界	1,2,3
	12週	ヨーロッパの産業革命（１）	1,2,3
	13週	ヨーロッパの産業革命（２）	1,2,3
	14週	産業革命と社会問題	1,2,3
	15週	主権国家体制の成立	1,2,3
	16週	期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的 分野	世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。	3	
				民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	3	
				近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。	3	
				帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	3	
				第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。	3	
				19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	3	
			公民的分野	人間の生涯における青年期の意義と自己形成の課題を理解し、これまでの哲学者や先人の考え方を手掛かりにして、自己の生き方および他者と共に生きていくことの重要性について考察できる。	3	
				自己が主体的に参画していく社会について、基本的人権や民主主義などの基本原理を理解し、基礎的な政治・法・経済のしくみを説明できる。	3	
				現代社会の考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。	3
	工学基礎	グローバル ゼーション・異文化多 文化理解	グローバル ゼーション・異文化多 文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	3	
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3	
それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。				3		

評価割合

	試験	提出物・発表・態度	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0